

再 処 理 施 設 の 使 用 計 画

2014 再 計 発 第 588 号

2015年 1月 30日

原子力規制委員会 殿

住所 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駁字沖付4番地108
 氏名 日本原燃株式会社 代表取締役社長 社長執行役員 工藤 健二

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第46条の4及び使用済燃料の再処理の事業に関する規則第7条の13第1項（第2項、第3項）の規定により次のとおり届け出ます。

工場又は事業所		名 称 再処理事業所								再処理設備の系列名				再処理設備			
		所 在 地 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駁								年間の最大再処理能力(トン)				800			
年度別	期別	使用済燃料受入れ量		再 処 理 量		期 末 在 庫 量		プルトニウム製品		ウ ラ ン 製 品		その他の有用物質		期 末 在 庫 量			
		燃料体数 (体)※1	ウランの量 (トン)※2	燃料体数 (体)※1	ウランの量 (トン)※2	燃料体数 (体)※1	ウランの量 (トン)※2	生産量 (kg)※2	払出量 (kg)※2	生産量 (トン)※2	払出量 (トン)※2	生産量 (kg)	払出量 (kg)	プルトニウム製品 (kg)※2	ウラン製品 (kg)※2	その他の有用物質 (kg)	
2015年度	上 期	BWR 0 PWR 14	BWR 0 PWR 6	BWR 0 PWR 0	BWR 0 PWR 0	BWR 8561 PWR 3486	BWR 1480 PWR 1484	0	0	0	0	—	—	6656	364022	—	
	下 期	BWR 0 PWR 0	BWR 0 PWR 0	BWR 0 PWR 0	BWR 0 PWR 0	BWR 8561 PWR 3486	BWR 1480 PWR 1484	0	0	0	0	—	—	6656	364022	—	
	計	BWR 0 PWR 14	BWR 0 PWR 6	BWR 0 PWR 0	BWR 0 PWR 0	/	/	0	0	0	0	—	—	/	/	/	
2016年度	上 期	BWR 12 PWR 7	BWR 2 PWR 3	BWR 471 PWR 0	BWR 80 PWR 0	BWR 8102 PWR 3493	BWR 1402 PWR 1487	1988	0	111	0	—	—	8644	474622	—	
	下 期	BWR 12 PWR 7	BWR 2 PWR 3	BWR 376 PWR 218	BWR 64 PWR 96	BWR 7737 PWR 3281	BWR 1340 PWR 1394	2858	0	146	0	—	—	11502	620989	—	
	計	BWR 24 PWR 14	BWR 4 PWR 6	BWR 847 PWR 218	BWR 144 PWR 96	/	/	4846	0	257	0	—	—	/	/	/	
2017年度	上 期	BWR 424 PWR 109	BWR 72 PWR 48	BWR 1129 PWR 0	BWR 192 PWR 0	BWR 7032 PWR 3391	BWR 1220 PWR 1442	3429	※3	176	0	—	—	14931	796629	—	
	下 期	BWR 424 PWR 109	BWR 72 PWR 48	BWR 565 PWR 436	BWR 96 PWR 192	BWR 6890 PWR 3063	BWR 1196 PWR 1298	5144	※3	263	0	—	—	16502	1060089	—	
	計	BWR 847 PWR 218	BWR 144 PWR 96	BWR 1694 PWR 436	BWR 288 PWR 192	/	/	8573	3572	439	0	—	—	/	/	/	
合 計	BWR 871 PWR 246	BWR 148 PWR 108	BWR 2541 PWR 655	BWR 432 PWR 288	/	/	13418	3572	696	0	—	—	/	/	/		

【燃料体の種類の略号】 BWRは発電用の軽水減速、軽水冷却、沸騰水型原子炉の使用済ウラン燃料を示す。PWRは発電用の軽水減速、軽水冷却、加圧水型原子炉の使用済ウラン燃料を示す。

注記： ウランの量は照射前金属ウラン質量換算とする。

プルトニウム製品は、ウラン・プルトニウム混合酸化物製品の金属ウラン及び金属プルトニウムの合計質量換算とする。

ウラン製品は、ウラン酸化物製品の金属ウランの質量換算とする。

ウラン試験に用いた金属ウラン（51.7 t U）は、ウラン製品には含めていない。

使用済燃料による総合試験中の再処理量等を含む。

※1： 燃料体数が確定していない場合、ウランの量より算出し、各欄毎に端数処理（四捨五入）を実施しているため、上期・下期の和と計が一致しない場合がある。

※2： 各欄毎に端数処理（四捨五入）を実施しているため、上期・下期の和と計が一致しない場合がある。

※3： 2017年7月から当社ウラン・プルトニウム混合酸化物燃料加工施設でホット試験を開始するため、2017年度下期のプルトニウム製品払出量3572kgの一部を上期に払い出す。